

# 令和6年度第1回「渋滞解消」推進本部会議 議事録

日時：令和6年（2024年）6月5日（水）8時40分～9時20分

場所：県庁本館5階 知事応接室

## 1 開会

【進行：土木部監理課】

ただいまから、令和6年度第1回熊本県渋滞解消推進本部会議を開催いたします。お手元の次第に沿って進めさせていただきます。

まず、推進本部の本部長であります知事からご挨拶をお願いいたします。

## 2 挨拶

【木村知事】

皆さんおはようございます。第1回熊本県渋滞解消推進本部を開かせていただきます。熊本都市圏の渋滞問題というのは、長年の懸案であり、私が初めて熊本に足を踏み込んだ12年前から、渋滞厳しい街だということを強く認識しました。更に、半導体関連産業企業の進出に伴い、セミコンテクノパーク周辺も含めて渋滞が増えていますし、新型コロナウイルスが5類に移行し、民間の活動が活発になった中で、この渋滞問題が今、熊本の喫緊の課題であり、これにしっかり向き合わないと、これからの熊本の成長もないと思っています。

ただ、一方で県民の命と暮らしを守るためにもしっかりと、県民の安心安全に繋がるインフラ整備、まちづくりが求められています。これまで、「半導体産業集積強化推進本部」の一部会（渋滞・交通アクセス対策部会）であったこの渋滞問題を、あえて一本立ちさせて、今回、「渋滞解消推進本部」を立ち上げさせていただきました。

そして、現在、私たちが取り組んでいる施策を今一度、横串を刺して再度確認し、また、これからすぐにやるべきこと、中期・長期的にやるべきことをしっかりと言葉で整理をして、県民の皆さんに示していきましょう。

ぜひ、一緒に県民の皆さんの不安を払拭していく県庁をやっていきましょう。皆さんと一緒にこれから頑張っていくいきましょう。よろしく申し上げます。

## 3 報告事項

【進行：土木部監理課】

ありがとうございました。それでは次第3報告事項に入ります。まず推進本部の取り組みについて、土木部長より報告いたします。

### ○ 推進本部の取り組みについて

【土木部長】

まず、スライドの表紙をお願いします。本日の説明内容は、まず1つ目に、熊本都市圏の交通状況ということで少しお話をさせていただきます。次に、熊本都市圏の交通施策と、推進本部の役割、次に、交通施策の整合・連携についてということで、ここでは効率的に、渋滞解消を進めていくための、重要な視点についてご説明を差し上げます。そして最後に推進本部の取り組み内容ということで、説明を行い、少し具体の取り組み

についてご紹介をさせていただきたいと思えます。

それでは、1ページをお願いいたします。まずは、熊本都市圏の交通状況でございます。図は、熊本市中心部の主要渋滞箇所を示したものでございます。平成30年時点では、熊本市内には赤い点の主要渋滞箇所、180ヶ所が集中しております。水色の帯で示すように、多くの主要渋滞区間が存在しております。令和5年度時点では175ヶ所となっておりますが、主要渋滞箇所の数は依然として、3大都市圏を除く政令指定都市の中でワーストとなっております。

2ページをお願いします。左の図は、熊本都市圏における自動車の平均速度を示したものでございます。ピンク色の熊本市中心部の平均速度は、時速16.1キロメートルと非常に低くなっており、3大都市圏を除く政令指定都市の中でワーストとなっております。

3ページをお願いします。こちらは、セミコンテクノパーク周辺の主要交差点における朝ピーク時の状況を示したものでございます。青い矢印は、信号交差点の最大滞留長、赤い矢印は信号機が赤に変わった際の、はけ残りいわゆる最大渋滞長を示したものでございます。東西方向の幹線道路、国道57号や大津植木線には、セミコンテクノパークなどに向かう通勤交通が集中し、渋滞が発生しております。また、右側の縦軸、国道325号、443号では、北に向かう交通が集中し、室交差点を先頭に長い渋滞が発生しております。渋滞解消推進本部では、昨年度までの半導体産業集積強化推進本部での、セミコンテクノパーク周辺地域における議論も包括して取り扱って参ります。

4ページをお願いします。次に、熊本都市圏の交通施策と推進本部の役割について説明を行います。熊本都市圏では、都市交通の将来像を描く都市交通マスタープランと、その実行計画として、熊本都市圏総合交通戦略を策定しております。道路、公共交通、まちなか交通に係る様々な交通施策を位置付けております。推進本部では、都市交通戦略に位置付けた施策の着実な実施を確認するとともに、各施策の整合性や連携、施策の効果発現の観点から、既存施策の前倒しや新たな対策などの実施方針を明らかにして参ります。また、推進本部で打ち出された方針につきましては、実現可能な施策を速やかに実行するとともに、現在改訂中の都市交通マスタープランや熊本都市圏総合交通戦略に反映して参ります。

5ページをお願いします。ここでは、効果発現のポイントとなります。交通施策の整合・連携についてご説明をいたします。左側のイメージ図をご覧ください。道路や公共交通などについて各施策は、各々を整合するように組み合わせ、連携して取り組むことが重要でございます。右側の写真をご覧ください。益城町においては、熊本高森線の4車線化と併せて、路線バスの定時性を確保するため、バス停の停車帯を切り込まずに、通り抜けタイプとすることや、乗り換えの利便性を考慮して、交通広場を整備する、いわゆる施策の整合を図るとともに、益城町と連携してバス停付近に駐輪場を整備するなど、公共交通の利用環境の向上を図っているところでございます。

6ページをお願いします。推進本部の取り組みについてご説明します。スライド左側の図をご覧ください。熊本都市圏では、2環11放射と呼ばれる、青い線やピンクの線で示す、都市交通の骨格道路の整備を進めています。特に赤い矢印の区間を構成する中九州横断道路や、熊本西環状道路などの高規格道路につきましては、国や熊本市の重点的な取り組みによって大きく進捗していくものと考えております。これにより、特に市街地の西側におきましては、通過交通の分散による渋滞緩和や、都市部へのアクセスの向上が進むものと考えております。しかしながら、これらの道路整備のみで都市圏全体の渋滞問題が解決できるわけではありません。渋滞解消を加速化していくためには、右側の表に示すような短期、中期、長期のソフト・ハード対策を効率的かつ段階的に進め

ていく必要がございます。次のページから、これらの具体の取り組み例をご紹介します。

7ページをお願いします。この図は、菊地南部地域の短期的な取り組みを示したものでございます。令和6年度は、警察本部と土木部が協力し、信号制御の見直しなど、ソフト施策と、交差点改良等のハード対策を連携させることで、交差点の処理能力の向上を図って参ります。具体的には、セミコンテクノパーク周辺地域において、車両感知器の設置を図の破線に囲まれた区域全体に拡大していくこととしております。

8ページをお願いします。これは短期対策の取り組みイメージでございます。信号制御の高度化と右折レーンや左折レーン等の延伸・設置などのイメージでございます。

9ページをご覧ください。これは中期対策の取り組みイメージです。左は、県道熊本高森線の4車線化の写真で、道路拡幅による交通容量の拡大を図ったイメージでございます。右側の図は、2段目の②バイパスの整備による交通の分散と、さらにその下、③の道路空間の再配分を行い、バスレーンなどを配置するイメージでございます。

10ページをご覧ください。長期的な取り組みにつきましては、熊本市都市圏3連絡道路等の新たな道路ネットワークの整備などがございます。

11ページをご覧ください。その他の取り組みとして、パークアンドライドの実施や、通勤バスの利用啓発など、県民の皆さんや企業との連携、協力をいただきながら、公共交通への利用転換に資する取り組みも継続して取り組んで参ります。右の写真は、原水駅での通勤バスの利用状況でございます。

私からの資料の説明は以上でございます。

#### 【進行：土木部監理課】

ありがとうございました。次に、公共交通の利用促進について、企画振興部長より報告いたします。

#### 【企画振興部長】

資料2をお願いします。熊本県におきまして、環境に配慮した、住みよい暮らしの実現のためには、公共交通の利用促進が不可欠と考えております。過度な自動車依存からの脱却を目指し、ヨーロッパのような公共交通を優先させた社会の実現に向けまして、自家用車から公共交通への利用転換を促す取り組みを進めたいと考えております。これまでも、バス共同経営推進室への参画を通じた、各種利用促進の取り組みやJR豊肥本線の輸送力強化に向けた働きかけ、チャリチャリとの包括連携協定の締結等により公共交通の利便性向上を図って参りました。

一方で、公共交通の利用促進のためには、県民の皆様の公共交通の利用に対する意識の醸成や、運転士不足等に伴う供給面の問題など、大きな課題があると認識しております。車を1割削減することで、渋滞を半減するという研究もございます。

企画振興部としましても、まずは、公共交通利用に対する県民の皆様の意識の醸成をしっかりと図るため、県民を上げて、公共交通の利用促進するためのシンポジウムの開催、意識啓発広報、公共事業や交通事業者、企業等の利用促進に係る取り組み支援を強力に進めるための予算を6月議会に提出予定でございます。今後も交通事業者と連携し、公共交通の機能強化や利用促進を強力に進めて参ります。資料の説明は以上です。

#### 【進行：土木部監理課】

ありがとうございました。ここで熊本県渋滞解消推進本部の推進体制について、資料末尾に添付しております体制表でご説明いたします。こちらをご覧ください。推進本

部は、知事をトップに両副知事を初め、土木部長、企画振興部長などで構成します。推進本部では、渋滞解消に係る施策の内容や進捗並びに実施方針をわかりやすく情報発信等を行うこととし、幹事会を中心に具体の取り組みを進めて参ります。

また、幹事会は、推進本部を補佐し、渋滞解消を具体的に推進するため、渋滞対策などの着実な実施や前倒し、各施策の整合連携、新たな対策の追加をテーマに、渋滞解消に向けた検討を行って参ります。次第3報告事項につきましては以上となります。

## 4 意見交換

### 【進行：土木部監理課】

続きまして、次第4意見交換に移らせていただきます。各部からその他ご意見ご質問等ございませんでしょうか。

### 【商工労働部】

商工労働部でございます。先月末、ソニーが合志市における新工場の建設に着手したことは、皆さんご承知の通りでございますけれども、現在、東京エレクトロン九州も新棟の建設を進められておりまして、年内には、JASSEM第2工場の建設も開始される予定でございます。今のところ時差出勤などを各社のご要望し、ご協力もありまして、セミコンパーク周辺の渋滞は、一定程度緩和をされているところでございますけれども、今後、工事車両の増加による渋滞が懸念されることから、なお一層、県・市町、それから工事事業者間での情報を共有して、連携して対策を講じていく必要があると考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。

### 【進行：土木部監理課】

ありがとうございました。他にご意見ご質問等ございませんでしょうか。

### 【知事公室長】

知事公室でございます。公共交通の利用促進とかの件でございますけれども、公共交通について県が主体的に取り組んでいくことは、事業所を持っているわけでもないのので実は難しいんですね。資料の中で、バス5社の事業者で運営している共同経営推進室というのが出てきます。以前は、令和元年、2年度は共同経営準備室という形でございます。ここには、県と熊本市からも職員を派遣して、県と市がしっかりと関わりを持って、事業者と、県と市と同じテーブルで同じような悩みを共有して、課題解決に向けて何が必要かを考える場としていました。特に、今回上がったような、例えば、共通の定期券とか、競合路線の合理化というのは、独禁法が妨げになっており、これを規制緩和しなければならないということで、県・市それから事業者さんと共同で、要望書を作って、公正取引委員会などに要望を続けた結果、日本で初めてこの共同経営という部分が認められて、共同経営推進室が令和3年の4月に設置されたという経緯がございます。その後、なかなか事業者主体の取り組みを、あるいは財政的な支援をするというような形を、今、企画振興部でやってらっしゃると思うんですけども、もう一度その共同経営推進室としっかりと話をするという場面をいっぱい持った方がいいんじゃないかなと思っています。実際にここ共同経営推進室が社長会っていうのを作ってらっしゃって、バス事業者の社長さんを集めて、定期的に会合を持ってらっしゃって、実は大西市長はスポットスポットに参加されて、実際に話を聞いたりしている場面が結構あります。できれば、今、企画振興部長が出てらっしゃると思いますが、副知事、それから、知事の方に出席をしていただいて、ひざ詰めで話をさせていただくと、事業者の状況とかもわかり

ますし、あるいはこちらから事業者へお願いをしたい事項なんかも直接伝わるのではないかと思いますので、そのあたりぜひご検討いただければと思います。

### 【企画振興部長】

おっしゃっていただいた通りでございます。バスの共同経営推進室との連携これが直接事業を所管したわけではない県にとっては、極めて重要であるというふうに考えております。職員については、今現在、週1日で、1名の交通政策課の職員が出向き、一緒に県と市の職員がそれぞれ出向いて仕事を進めているところでございまして、ご指摘のあった社長会ですね、私も事務所に行ってお話を伺いましたし、こちらに来ていただいて、議論をしたこともあります。そういった意味でしっかりとバス会社の現状を県としてもよく把握していくと、知事・副知事にもぜひそういった議論をする機会があれば、いいというふうに考えています。特にバス事業者が先ほども申し上げましたけども、人員の問題がありまして非常に厳しいとまた物価高とかそういった問題もありまして、経営的に厳しい状況にありますので、そういったところもよくお伺いしてですね、県としてできることはしっかりやっていきたいというふうに考えております。

### 【進行：土木部監理課】

ありがとうございます。他にご意見ご質問等ございませんでしょうか。

### 【デジタル戦略局理事】

デジタル戦略部でございます。デジタル戦略局では、「くまもとDXランドデザイン」で描いたビジョン実現に向け、デジタル化とDXの取組みを促すため、産学行政が連携していく枠組みとして「くまもとDX推進コンソーシアム」を創設しており、今現在540ほどの事業体に参画いただいております。その中でも、渋滞対策に関心が高い企業さんがいらっしゃいまして、また情報、データもお持ちのところがございますので、こういった企業さんと行政の政策とのつなぐ部分も、一緒に検討しながら、この渋滞対策に貢献していければと思っております。以上でございます。

### 【知事】

意見交換っていうよりも、質問的なことを2つ先にいいかな。

1点目は、資料1の1ページ目で土木部長が説明された、主要渋滞箇所180は、それはいつの数字なのか。平成30年のJASMEの進出もない頃の話なので、最新のデータがそろそろ出ているのではないかと考えていて、それがいつごろ出るのかなど。その最新のデータの元で、関係市町村とも意見交換しなきゃいけないかなと考えています。

2点目が、資料1の11ページ目にある、原水駅のバス停の屋根について、そこを利用されている企業等から、この屋根の延伸要望があっているため、対応を検討してほしい。

先に細かい質問2点をお願いいたします。

### 【土木部長】

まず、1点目について、主要渋滞箇所数180箇所は、令和元年度に開催した「熊本市圏ネットワーク検討会」の会議資料から抜粋しているため、平成30年度のデータが反映されております。最新のデータについては、国・県・市等で連携して、毎年開催しております「熊本県交通渋滞対策協議会」がありますが、この中で整理しており、毎年夏頃に前年度のデータを反映したものを共有していく流れになっております。

## 【知事】

そこめがけてちょっと考えていけばいいね。もう少し時間がかかるね。

## 【企画振興部長】

豊肥本線を利用してセミコンテクノパーク周辺通勤される方の最寄り駅である原水駅の混雑などは、報道などでも話題になっているところですが、このバス停の屋根については、菊陽町の方で、ここまで整備をさせていただいているところです。

既に企業の方からも、このような要望がっておりますので、菊陽町ともよく話して対応できるようにしていきたいと考えております。

## 【進行：土木部監理課】

他ご質問、ご意見ありませんか。どうぞ。

## 【土木部長】

先ほど、バス屋根の話がありましたが、先程説明しましたように、例えば、益城町の熊本高森線では、4車線化に併せ、バス停の屋根を付れたり、町と連携してバス停背後に駐輪場を整備したことを紹介しました。

これは、以前、益城町が熊本地震からの復興計画を策定された際に、様々な意見を集約されており、その中で、バスの円滑な走行や公共交通の利用環境の改善などの意見を道路の取組みと連携させていったということでございます。公共交通は、一定のインフラ整備もセットでやっていかないと円滑に運営ができないということがございます。公共交通のエリア毎の目標を道路側とも共有したうえで、公共交通のビジョンが実現できるよう、道路等のインフラ整備にも反映させる必要がございます。特にセミコンテクノパーク周辺は、集中的に道路整備等を行っておりますので、しっかりと取り入れていきたいと思っておりますのでよろしくお願いします。

## 【県北広域本部長】

今、様々な渋滞の話出ていますけど、現場の方でも、ハード整備などを取組みを鋭意推進しているところでございます。

昨日、菊陽町で実施された渋滞調査結果が公表されましたが、昨年7月の結果では、企業等の時差出勤などの効果もあり、渋滞が緩和していた結果でありましたが、昨日、発表された最新の調査結果では、熊本市内方面からセミコン方面へ向かう路線で前回の4倍の400%のプラスということでありました。菊陽バイパスにおいては、2倍の100%増などの状況もありました。

県北広域本部管内では、合志市、菊陽町、大津町などと協議会を設置してありまして、主にソフト対策について協議しているところでございます。今後も、この結果を踏まえながら、どういった対策ができるのか、しっかり話をしていきたいと考えております。

## 【知事】

もしよろしければ、県警本部長さんがせっかく起こしなので、なにか一言いただくと、せっかくお越しいただいたので。

### 【警察本部長】

警察本部でございます。資料1の8ページにもございますように、警察本部では、短期的な対策を担っていかねばならないと考えているところでございます。交通管制センターによる集中制御を行っているエリアにおきましては、渋滞情報に基づいて、最適な信号制御を自動的に行うというのを今、現在でも行っているところでございます。従いまして、7ページのところにも記載しておりますけれども、この対策エリアの中で、集中制御の信号機を増やしていきたいと考えております。また、正確な信号情報や交通情報が見られることにより、よりきめ細かな信号制御が可能になりますので、このエリアの中で、車両感知器等の整備をしていって、セミコンテクノパーク周辺の渋滞解消に道路整備などのハード対策とも連携しながら、しっかりと取り組んで参りたいと考えてございます。以上でございます。

### 【進行：土木部監理課】

ありがとうございました。他ご意見ないでしょうか。

それでは、副知事からご意見をいただきたいと思えます。まずは先ほど竹内副知事からお願いいたします。

### 【竹内副知事】

今日のこの本部会議で、ハード・ソフトの連携の重要性、それから、民間事業者との連携、それから市町村との連携の重要性というのがすごく明らかになってきたと思えます。実現可能な施策を速やかに実施していくためには、やはりそれらの連携をしっかりとやっていく必要があると思えますので、今日出てきたような意見を踏まえて、民間事業者さん、それから、市町村ともしっかりと連携し、一緒に加速していきたいと思えます。よろしく申し上げます。

### 【亀崎副知事】

今回のこの対策の一番のイメージというのは、資料1の5ページにあります、交通政策の整合連携のイメージ。道路や公共交通、それとハード・ソフト、このマトリックスがいろんな対策と融合されているという、これがやっぱりそうだと思います。その中で、次の6ページにありますように、それらの対策を実現していくためには、短期・中期・長期、それぞれ時間のスパンが違うということで、これをいかに有効に連携して、先ほど知事から横串を刺すということがありましたが、まさにそういう横串を刺しながら進めていくことが大事だと思います。長期的な対策、これやはり時間がかかりますけれども、計画的にできるだけ前倒しができるようにやっていきたいと思えます。特にセミコン周辺の方は、昨年、交付金を別枠でいただいたことで、事業期間を5年、10年と明確にお示ししております。これをしっかりとやっていくというのが大事だと思います。

あと、短期的な施策、これがやっぱりポイントで、こういう長期的なスパンの中で、短期的な施策をスピード感を持って進めていくことが大事。先ほど、商工労働部の方からありましたが、工事中の車両などこれまでにない情報で、予想はされるんですけど、現実的にも工事が始まりますから、そういった工事の車両の情報なども事業者さんと共有しながら、その中で何が予想されるかといったことも、情報を共有して、可能な限りの対策を進めていけたら良いと思っております。

その中で、先ほど知事の方から県民の不安を払拭するということがございましたが、大事なのは、その実施のプロセスや効果を県民の皆さんにわかりやすく、お示し、伝え

ていくことが大事だろうと思います。そういう視点で、みんな一緒に頑張っていきましょう。以上です。

**【進行：土木部監理課】**

ありがとうございました。最後に木村知事からお願いいたします。

**【知事】**

今日いろいろご議論いただきまして、よくわかりました。1つは、まず資料1の4ページにある目標が見えてきました。都市交通マスタープランの改定、令和7年度、そして、総合交通戦略の改定8年度。様々な施策を前倒して、これを1日でも早く策定し、これをスピードアップさせることをまず1つ方向性としていきたいと思います。こういうロードマップが見えてきました。

また、短期対策について、先ほど県警本部長からもお話ありましたように、明確になってきましたので、今議会にも予算を上程していますので、承認された後には、なるべく早くセミコンテクノパーク周辺の市町とも相談し、具体的な箇所が見えていくように先ほどのデータとあわせながら、しっかりと対応をお願いいたします。そのために、例えば、短期的な対策はもとより、やっぱり中期・長期、後、公共交通を含め、これはもう市町村との連携も不可欠である。また、「車1割削減」について、関係部局や民間企業へも相談しながら、ファクトに基づいて進めてもらいたい。

全体を包括するためにも、早期にですね、大西熊本市長とのトップ会談を求めましょう。大西市長としっかり話をしたうえで、都市圏の周辺市町の対応は考えたい。開催時期は、議会もあるので調整をお願いしたいと思います。

よりこれがスタートになりましたので、今回の推進本部で方向性が見えてきたと思います。あとは、よりそれを1つでも2つでも、早く具体化していくことと思いますので、渋滞解消に向けて不退転の決意で皆さん一緒に取り組んで参りましょう。頑張って参りましょう。

**5 閉会**

**【進行：土木部監理課】**

ありがとうございました。

それではこれもちまして令和6年度第1回熊本県渋滞解消推進本部会議を終了いたします。本日はお忙しいところお集まりいただきましてありがとうございました。